

## 令和3年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	1単位	年次	2年次
使用教科書	新家庭基礎 主体的に人生をつくる (大修館書店)						
副教材等	ニュービジュアル家庭科 2020 資料+成分表 (実教出版)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましよう。
- ・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
- ・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

## 2 学習の到達目標

食生活、住生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	食生活、住生活などについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	食生活、住生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	食生活、住生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	食生活、住生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、実習記録表、レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品、観察記録表、レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、実習記録表、観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	生涯の健康を見通した食生活をつくらう	○食生活の成り立ち ・なぜ食べるのか ・私たちは何を食べてきたのか ・国際性と食文化 ・食生活を見直す	○ ○  ○ ○	○ ○  ○ ○		○ ○  ○ ○	a: 食事の役割、日本と世界の食文化に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 現代の食生活について、課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 現代の食生活の課題を解決するために必要な栄養管理の技術を身に付けている。 d: 食事の役割、日本と世界の食文化について理解し、食生活の課題を解決するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
5月	生涯の健康を見通した食生活をつくらう	○栄養と食品 ・体に必要な栄養素と食品 ・炭水化物の働きと食品 ・脂質の働きと食品	○ ○  ○ ○	○ ○  ○ ○		○ ○  ○ ○	a: 体に必要な栄養素と食品に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 炭水化物や脂質の働きや食品その調理性をふまえて課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 d: 炭水化物や脂質の働きや食品その調理性などについて科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
6月7月	生涯の健康を見通した食生活をつくらう	○栄養と食品 ・たんぱく質の働きと食品 ・無機質の働きと食品 ・ビタミンの働きと食品 ・調味料・嗜好品・加工食品 *調理実習 和食の基本	○ ○  ○ ○ ○	○ ○  ○ ○ ○		○ ○  ○ ○ ○	a: たんぱく質、無機質、ビタミンの働きと食品に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: たんぱく質、無機質、ビタミンの働きや食品その調理性をふまえて課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d: たんぱく質、無機質、ビタミンの働きや食品その調理性などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習計画 実習レポート 定期考査
		1 学期末考査		○	○	○		

8月		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 *自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見だし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価
9月	生涯の健康を見通した食生活をつくらう	○安全で環境に配慮した食生活 ・食品の選択 ・食品の保存と衛生 ・環境に配慮した食生活	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:食品の選択や保存と衛生について、また環境への配慮に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食品添加物や食中毒、食料自給率について、課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全・安心な食のために、また環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を身に付けている。 d:食品の選択や保存と衛生について、また環境への配慮などについて科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 自己評価 相互評価 定期考査
10月	生涯の健康を見通した食生活をつくらう	○健康につながる食事計画 ・ライフステージの食生活の特徴 ・食事摂取基準と食品の量 ・家族の食事と献立 *調理実習 洋食の基本	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	a:ライフステージの食生活の特徴を考えた食生活、食事摂取基準に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:家族の食事と献立について、課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:ライフステージにおける食生活の特徴を考慮しながら、食品群別摂取量のめやすについて科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習計画 実習レポート 定期考査

11 月 12 月	安全で快適な住生活をつくらう	<p>○住生活の成り立ちと住空間の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ住まうのか</li> <li>・住生活の成り立ちと住文化</li> <li>・あなたの家族の生活に合った住空間の計画</li> </ul> <p>2学期末考査</p>	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	<p>a:住居と住文化に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b:住居と家族の生活について課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。</p> <p>c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理し、計画する技術を身に付けている。</p> <p>d:住居の機能などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。</p>	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査
1 月	安全で快適な住生活をつくらう	<p>○健康で安全な住生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康で快適な住まいと住まいかた</li> <li>・安全に配慮した住まいと住まいかた</li> </ul> <p>○よりよい住環境の実現をめざして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の住生活の現状と課題</li> <li>・環境保全につながる住まいの維持・管理</li> <li>・持続可能な住環境と地域社会</li> </ul>	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	<p>a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b:安全で環境に配慮した住生活について課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。</p> <p>c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。</p> <p>d:健康で安全な住居、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。</p>	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査

2 月 3 月	持続可能な社会をめざして行動しよう	○環境と調和のとれた生活 ・私たちの生活が 環境問題解決の鍵に ・エコライフを実践しよう ○持続可能な社会の実現を めざして ・グリーンコンシューマー をめざす ・環境保全活動 ・持続可能な社会を築こう *調理実習 エコクッキング	○	○	○	○	a:環境問題や持続可能な社会の実現に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:環境問題や持続可能な社会の実現について課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:エコライフを実践するために環境に配慮した食生活を営むために必要な技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:環境問題や持続可能な社会などについて科学的に理解し、グリーンコンシューマーとして生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習計画 実習レポート 定期考査 定期考査
	学年末考査			○	○	○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:技能      d:知識・理解

※ \*は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。